

## Step2-2

# いろいろな種類別 店舗等内部の配慮

## 1 飲食店での配慮(テーブル配置)

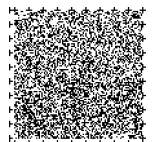
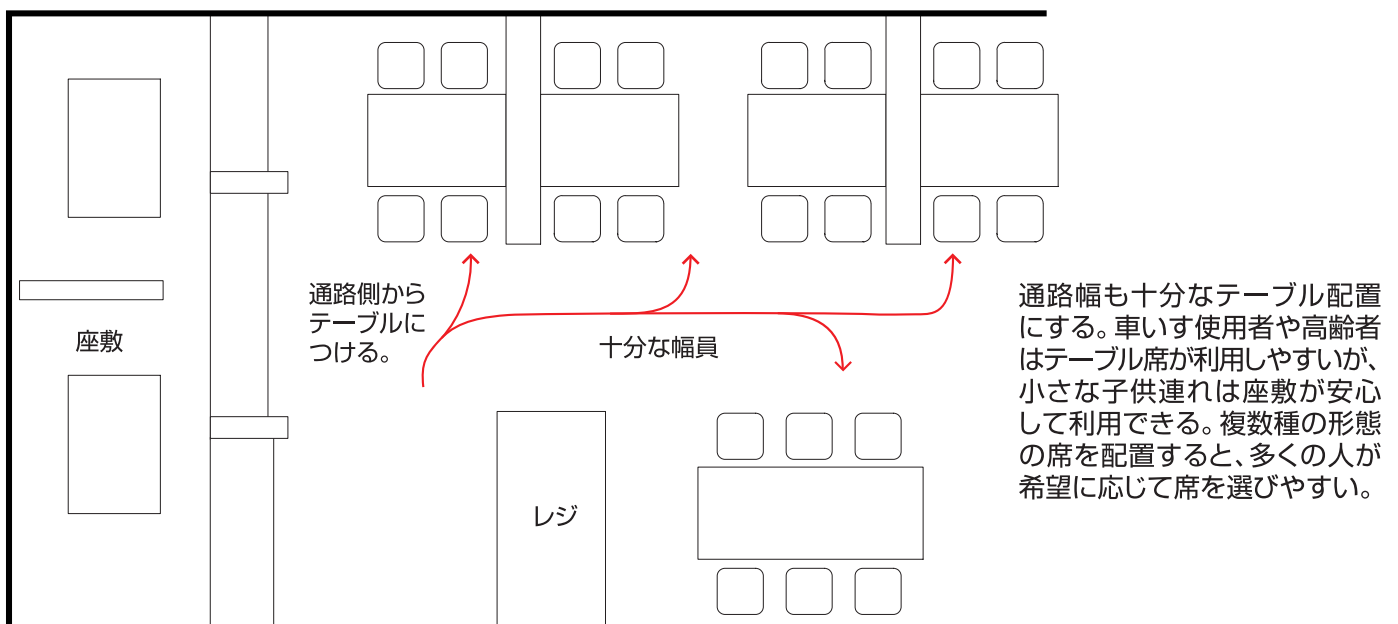
### 問題点と現状

- 車いす使用者が店内に入り、飲食をすることができない店がある。
- 車いす使用者は、車いすのままテーブルに着くので、固定いすは利用できない。
- テーブルといすが高いカウンター席は、車いす使用者や高齢者等は利用しにくい。
- 間仕切りがあるために空間が狭まり、車いす使用者が席に着けない場合がある。
- 聴覚障害者は、会話による注文がしにくい。視覚障害者は印刷の文字や看板のメニューだけでは、好きなものをゆっくり選びにくい。

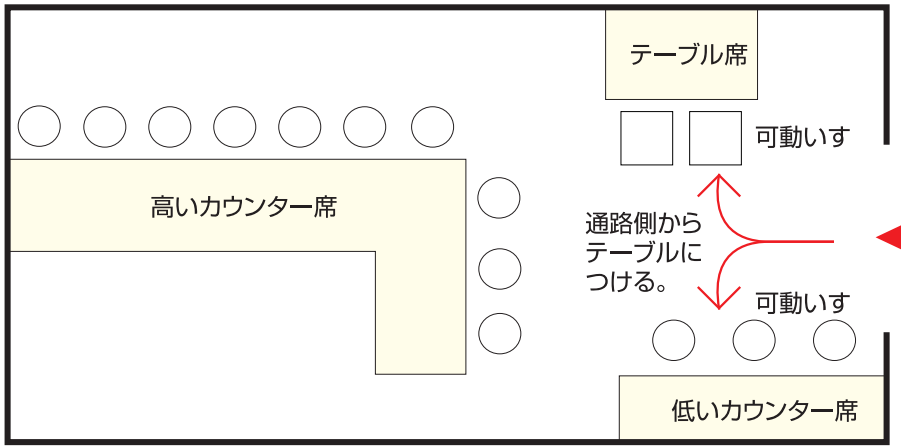
### 整備の考え方

- (1) 車いす使用者が車いすのまま席につけるように、固定していないいすで、一般的な高さのテーブル席・カウンター席を用意する。本人が席を選べることを望ましい。
- (2) 間仕切りは、可動式とする。
- (3) 聴覚障害者や視覚障害者等が注文しやすい、写真メニュー、タッチパネル、点字メニューなどの工夫をする。

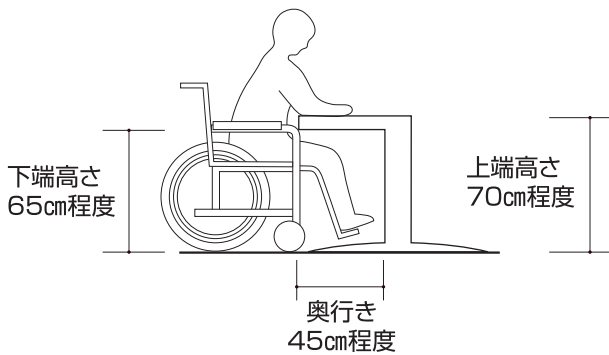
### 整備イメージ図



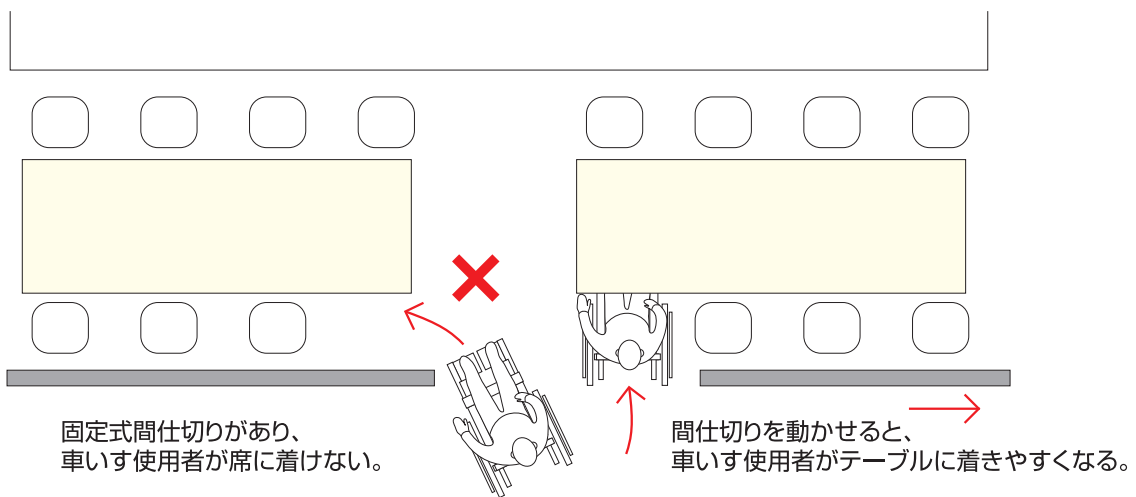
移動できるいすとテーブル



高いカウンター席中心の店舗にも、出入りがしやすい場所に、1か所以上のテーブル席や低いカウンター席を用意する。

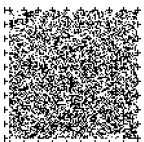


車いす使用者も食事ができるテーブルを用意する。高さは70cm程度が利用しやすい。ひざが奥まで入るように、下部に奥行きのあるテーブルが利用しやすい。



固定式間仕切りがあり、車いす使用者が席に着けない。

間仕切りを動かせると、車いす使用者がテーブルに着きやすくなる。





移動が楽な出入口近くに車いす使用者が利用しやすいテーブルを設置しているが、通路幅も十分にあるので、奥のテーブルを利用することもできる例。左手には小上がりの座敷もあり、客の選択肢が広がる。



カウンター席の他に、出入口付近に2種類の可動いすのテーブル席が設けられているラーメン屋。テーブル下も広くあいている。



タッチパネルは聴覚障害者等も注文しやすい。



写真付メニューは選択の助けになり、聴覚障害者等が指でさして注文しやすい。

**コラム** 高齢者にとって座りやすいいすの配慮について

高齢者にとって、膝よりも低いいすは、座る時も立ち上がる時も、足腰の筋肉への負担が大きいので、利用しにくい。足が下につかない掘りごたつ席や、机といすが固定されている席では、立ち上がりにも苦労する高齢者もいる。安定したテーブルと肘置きがついた可動いすがあるとよい。

**コラム** 乳幼児や子供に配慮した工夫事例



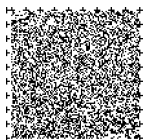
乳幼児を連れた者は、ベビーカーが場所をとったり、子供が泣いたりするなどで、周囲に気を遣うことが多い。店の一角にキッズコーナーがあれば、乳幼児を連れた者でも気兼ねなく食事ができる。



調乳用のお湯、離乳食用の電子レンジを備えたコーナーを設置



店内に授乳室を設置



## 2 物販店での配慮

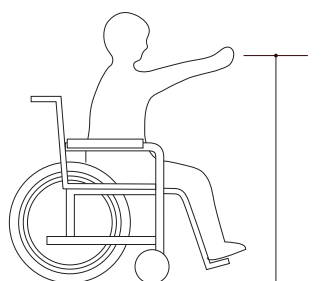
### 問題点と現状

- 店舗では、自由に商品を見て、選べるような配慮が必要だが、店内の構造により、それが困難な人もいる。
- 車いす使用者や高齢者等は、低いところ、高いところに手が届かない。視線が低いので、見上げるような視線が続くと疲れやすい。
- タイムサービスなど、変化する情報は音声だけで案内されることが多いので、聴覚障害者には伝わりにくい。
- 道路に直接面した小規模な店内で車いすを転回できない時に、介助者なしでバックして店外へ出るのは危険である。
- 狭い試着室では、親は複数の子供と一緒に入れずに困ることがある。立ったままで着替えをすることが困難な人は、試着をためらうことがある。

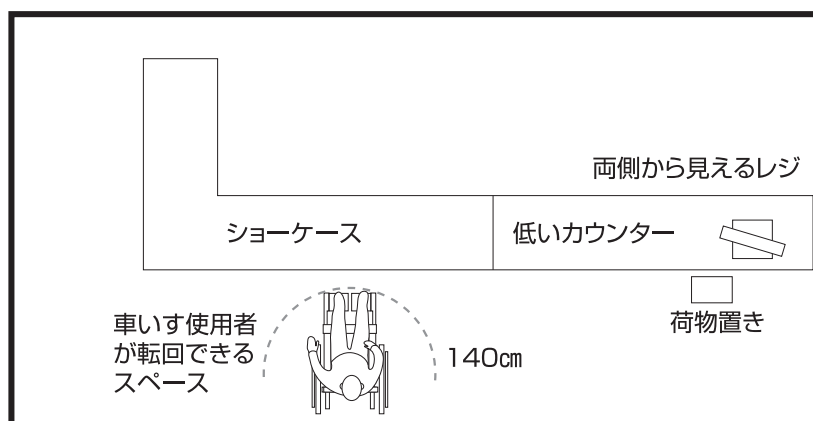
### 整備の考え方

- (1) 商品棚は、車いす使用者の視線でも選びやすく、商品を整理して陳列するなど、できるだけ手が届きやすい工夫をする。
- (2) 客へのお知らせは、音声情報と視覚情報との両方で伝える工夫をする。
- (3) 小規模店舗では、出入口とショーケースやレジの間に、車いす使用者やベビーカー使用者が店内に入れるスペースを確保する。

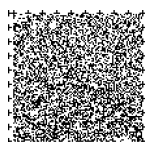
### 整備イメージ図



車いす使用者の手が届きやすい高さは100～110cm程度である。



店舗等の入口は、入口に段差がなく、中まで入れるようにし、車いす使用者が転回できるスペースを確保する。



## 整備事例



商品がはみださないように、通路部分に目印をつけている。

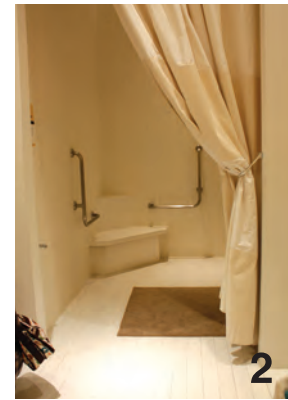


鏡をつけて、上段に何があるかわかるようにしている。



音声で流す情報は、視覚情報もあわせて提示する。

### コラム 試着室の工夫事例



子供と一緒に入れる広い試着室。いすや手すりも整備し、高齢者、障害者等にも配慮している。

### コラム 小さな八百屋での工夫事例



低い商品棚で、車いす利用者も買い物がしやすくなっている。上の棚も値札が見やすいように設置されている。

通路幅は車いす使用者の転回に十分ではないが、中央の通路は整理されていて、移動しやすい。



約120cm

